



2026 年 9 月 25 日

各 位

上 場 会 社 名 株 式 会 社 L i b W o r k
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 瀬 口 力
(コード番号：1431 東証グロース・福証 Q-Board)
問 合 せ 先 責 任 者 取 締 役 経 営 企 画 室 長 難 家 嘉 之
(TEL. 0968-44-3227)

V3D Asia 株式会社との資本業務提携に関するお知らせ

海外進出と 3Dプリンター住宅の低価格化を加速

当社は、V3D Asia 株式会社（本社：東京都千代田区、グループ会長兼 CEO：小野 和宏、以下「V3D Asia 社」といいます。）との間で資本業務提携をいたしましたので、お知らせいたします。

本提携は、当社の 3Dプリンター建設事業における「海外進出」と「低価格化」を推進することを目指すとしております。V3D Asia 社が有する東南アジアでの施工実績と現地ネットワークを活用し、インドネシア・マレーシアを中心とした海外事業の立ち上げを加速します。同時に、同社の強みである低コストでの 3Dプリンティング建築技術と当社の住宅事業の知見を組み合わせ、品質を確保しながら購入しやすい価格の住宅供給を目指します。海外での供給基盤の構築と価格競争力の強化を一体で進め、世界の住宅需要の取り込みにつなげてまいります。

1. 資本業務提携の目的及び理由

(1) 東南アジアを起点とした海外進出の加速

V3D Asia 社は、ブルネイにおいて政府案件として礼拝施設等の公共建築物を 3Dプリンティングにより施工し、2025 年 12 月より一般利用が開始されているほか、インドネシア・バタム島及びマレーシアにおいて住宅開発プロジェクトを進めております。また、マレーシアでは SIRIM Academy 及び CIDB (Construction Industry Development Board) との連携を通じ、3Dプリンティング建築を工業化建築システム (IBS) の認定工法として位置付ける取り組みを進めております。国内でも、島根県雲南市における一般的なモルタルを用いたオンサイト施工実証をはじめ、実証活動を本格化させております。

当社は、これらの施工実績と現地ネットワークを活用し、インドネシア・マレーシアにおける実証及びモデルハウス建設を推進します。両社の技術と事業基盤を組み合わせることで、海外での住宅供給体制の構築を進め、3Dプリンター住宅事業の海外展開を加速してまいります。

(2) 3Dプリンター住宅の低価格化による普及の促進

当社は、3Dプリンター住宅を広く普及させるためには、技術の実用化に加え、住宅取得者が購入しやすい価格を実現することが不可欠であると考えております。低価格化は当社の事業拡大に向けた重要課題であり、世界の住宅需要を取り込むうえでも鍵となります。本提携を通じて建築コストの低減を進め、購入可能な顧客層と供給地域の拡大につなげてまいります。

V3D Asia 社は、材料・装置・施工・現場運用を一体で開発・提供し、低コストでの施工を実現できることを強みとする企業です。現地で調達可能なモルタル等に独自の添加剤を組み合わせる施工モデルは、専用材料の長距離輸送への依存を抑え、材料調達・輸送にかかるコストの低減につながります。当

社の設計・施工・品質管理及び住宅販売の知見を組み合わせ、住宅としての品質を確保しながら、建設総コストの削減を目指します。

① 海外展開とコスト削減の両面で中期経営計画を推進

当社グループは、2026年8月21日に公表した中期経営計画「LIB EARTH SHOT 2029」において、3Dプリンター建設事業とHousing OS事業を成長の二本柱と位置付け、2029年6月期の目標として、海外売上高比率3%以上及び3Dプリンター建設の総コスト（㎡単価）40%削減を掲げております。本提携を、海外事業基盤の構築と低コスト技術の活用によって、これらの目標の達成を加速する戦略的な取り組みと位置付けております。

② 海外進出と低価格化を収益機会の拡大へ

海外での供給基盤の構築により事業地域を広げるとともに、建設総コストの削減を通じて販売価格の競争力と事業採算性の両立を目指します。住宅取得者の購入負担を抑えることで対象顧客層を広げ、供給を担う事業者においても導入しやすい事業モデルを構築します。さらに、材料・装置・施工データを標準化することで、フランチャイズ展開及びロイヤリティ収入モデルの早期構築につなげます。住宅供給の拡大と継続的な収益機会の獲得を通じ、中長期的な企業価値の向上を図ってまいります。

2. 業務提携の内容

（1）東南アジア地域における協業及び共同プロジェクトの推進

インドネシア・マレーシアを中心に、現地で調達可能な材料を活用した住宅供給モデルの確立に向け、実証及び共同プロジェクトを推進します。低価格化と現地での供給体制の構築を進め、住宅需要の取り込みを目指します。

（2）日本市場における協力体制

両社の技術及び事業基盤を活用し、日本市場における3Dプリンター住宅の実証と事業化に向けた協力を進めます。品質・信頼性の確保と建築コストの低減を両立する施工モデルの構築を目指します。

（3）新製品の共同開発

両社の材料・装置・施工に関する技術と住宅設計の知見を組み合わせ、低コスト化に資する新製品の共同開発を進めます。施工品質の標準化と再現性の向上を図り、量産化及び事業展開を支える技術基盤の構築を目指します。

3. 資本提携の内容

出資による当社議決権所有割合は約10%であり、当社の連結決算対象会社ではございません。また出資による同社経営体制に変更はございません。

4. V3D Asia の概要

商 号	V3D Asia 株式会社（V3D Asia Inc.）
所 在 地	東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル2階
代表者	グループ会長兼CEO 小野 和宏 Japan CEO 浅見 潤
事 業 内 容	建設用3Dプリンター（3DCP）の開発、建設用添加剤・材料の開発、3Dコンクリートプリンティング（3DCP）による建築物及び土木構造物の施工並びに施工支援

設立年月日	2022 年 6 月（2025 年 10 月 16 日付で Applied Nanotek Japan 株式会社より商号変更）
主なグループ会社	PT Nuvah Global Indonesia（インドネシア） Nuvah Sdn. Bhd.（マレーシア）

5. 今後の見通し

2027 年 6 月期の業績に与える影響は軽微と考えます。中長期的には、海外での事業拡大と 3D プリンター住宅の低価格化による販売機会の拡大、及びフランチャイズ・ロイヤリティ収入モデルの構築を通じて、収益基盤の拡大に寄与することを目指しております。今後開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

■V3D Asia 株式会社の施工実績例

ブルネイ完工・プリント写真



完工後の全景



3D プリンティングによる壁面

以 上